



学校教育目標「たくましく やさしく かしこい子の育成」

学校だより 臨時増刊号

令和4年2月28日
松戸市立上本郷小学校
校長 大原 晴子



令和3年度 学校評価アンケートの結果について

春暖の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと存じます。日頃から本校教育活動へのご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、保護者の皆様にはご多用のところ本校教育活動についてのアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。この程、結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

学校ではこの結果をもとに分析し、次年度に向けて改善を図ってまいります。今後とも保護者の皆様のご協力の程、よろしくお願いいたします。

学校ホームページにも集計結果をグラフにしたものを掲載してありますので、併せてご覧ください。

1. 保護者結果（回答数 501人）

質問項目	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない
学校は、教育活動の見直しを進めている	88	371	33	9
学校は、わかりやすい授業に努めている。	134	321	43	3
学校は、子どもが自分の考えをしっかり持ち、わかりやすく伝えられる子どもに育てようと努めている。	122	319	57	3
学校は、子どもたちの健康や食に関する指導、体力向上に努めている。	166	306	25	4
学校は、思いやりや社会性を育てるための「心の教育」に努めている。	115	316	63	7
子どもたちは、自ら学ぼうとする姿勢がある。	105	321	70	5
学校は、「いじめ」のない楽しい学校（学級）作りに努めている。	100	338	53	10
学校は、子ども一人ひとりをよく理解し、悩みや相談に対応するように努めている。	101	314	69	17
学校は、子どもたちに挨拶や発表の仕方、基本的な学習習慣が身につくように努めている。	147	315	34	5
学校は、協力したり助け合ったりする子どもに育てようと努めている。	124	338	33	6
教師や友達との関わりを通して成長し、充実した学校生活を送っている。	169	283	42	7
子どもたちは、協力し合い助け合うことができる。	139	331	27	4

全体的に「よくできている」「だいたいできている」の回答が多い傾向でした。特に、「健康や食に関する指導、体力向上」や「協力し合い助け合うことができる」についての項目では良い評価をいただきました。

しかし、「思いやりや社会性を育てるための『心の教育』に努めている」「自ら学ぼうとする姿勢がある」「子ども一人ひとりをよく理解し、悩みや相談に対応するように努めている」では改善が必要な結果となりました。

子どもたちが学習意欲を高く持ち、学校という社会の中でお互いを認め、尊重し合いながら生活していけるよう、引き続き努めてまいります。また、教育相談体制にも力を入れてまいります。

2. 児童結果（回答数 765人）

質問項目	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない
授業中、人の話をしっかり聞くことができる。	406	322	28	9
「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」「ごめんなさい」などの言葉遣いができる。	478	242	43	2
あきらめないで、最後まで取り組める。	435	282	43	5
授業の内容がよくわかる。	406	309	44	6
元気よく外で遊ぶことができる。	483	161	98	23
給食は残さず食べることができる。	486	167	94	18
学校に行くのが楽しい。	518	189	42	16
困ったとき先生に相談できる。	276	303	142	44
友達と協力し合って生活できる。	492	232	33	8
学習では自分の考えや意見を発表したりまとめたりできる。	316	295	129	25
地震や災害、不審者に会ったとき、どのようにしたらよいか分かる。	530	211	19	5
清掃や係活動など、自分の仕事はまじめに取り組める。	494	239	28	4

全体的により傾向です。しかし、「困ったとき先生に相談できる」「自分の考えや意見を発表したりまとめたりできる」の評価がよくないです。保護者アンケートでも教育相談体制については改善が求められました。相談窓口を周知し、担任以外でも気軽に困りごとや悩み事を相談できる体制を構築していきます。また、思考力・表現力の育成は喫緊の課題です。校内授業研究などを中心に、子どもたちの育成に今後も取り組んでまいります。

3. 教職員結果（回答数 35人）

質問項目	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない
学校は、教育活動の見直しを進めている	10	23	2	0
学校は、わかりやすい授業に努めている。	9	26	0	0
学校は、子どもが自分の考えをしっかりと持ち、わかりやすく伝えられる子どもに育てようと努めている。	13	22	0	0
学校は、子どもたちの健康や食に関する指導、体力向上に努めている。	14	20	1	0
学校は、思いやりや社会性を育てるための「心の教育」に努めている。	13	21	1	0
子どもたちは、自ら学ぼうとする姿勢がある。	6	24	5	0
学校は、「いじめ」のない楽しい学校（学級）作りに努めている。	12	23	0	0
学校は、子ども一人ひとりをよく理解し、悩みや相談に対応するように努めている。	9	26	0	0
学校は、子どもたちに挨拶や発表の仕方、基本的な学習習慣が身につくように努めている。	10	22	3	0
学校は、協力したり助け合ったりする子どもに育てようと努めている。	11	23	1	0
教師や友達との関わりを通して成長し、充実した学校生活を送っている。	9	25	1	0
子どもたちは、協力し合い助け合うことができる。	7	26	2	0

教職員も保護者同様に「自ら学ぼうとする姿勢がある」に課題を感じています。子どもたちが知的好奇心を持ち、「やってみたい」「考えてみたい」という魅力ある教材の研究に励み、「わかった」「できた」と達成感を感じることができる授業をつくっていくよう今後も努めてまいります。